

令和6年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	団体連携部門
------	--------

【1】事前相談について

(1) 市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談

コーディネーター名	中田
事前相談日時	令和6年5月9日(木)14:00～16:00／5月14日(火)11:00～12:30
申請可能と言われた日時	令和6年5月9日(木)

※複数回相談した場合、全てご記入ください

(2) 協働を希望する課への事前相談 ※学生・高校生部門は不要です

協働希望課名	市民局 市民協働推進課
事前相談日時	令和6年5月9日(木)16:00～16:30／5月15日(水)14:15～14:45
申請可能と言われた日時	令和6年5月15日(水)

※複数回相談した場合、全てご記入ください

【2】応募要件について

該当する部門の応募要件の□内に、○を記載してください。（プルダウンになっています）

該当の部門	要件内容	
全部門共通	5名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	<input type="radio"/>
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としていない。	<input type="radio"/>
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	<input type="radio"/>
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	<input type="radio"/>
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1年以上の活動実績を持っている。	<input type="radio"/>
スタート、一般、団体連携	翌年3月31日までに事業を完了できる。	<input type="radio"/>
学生・高校生部門	翌年2月28日までに事業を完了できる。	<input type="radio"/>
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	<input type="radio"/>
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から3年以内の団体である。	<input type="radio"/>
一般部門、団体連携部門	昨年度採用されていない事業である。	<input type="radio"/>
一般部門、団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去2回以上採択された団体ではない。	<input type="radio"/>

【3】申請者について

団体の名称	特定非営利活動法人ワークライフバランス北陸
団体名称のフリガナ	トクヒ・ワークライフバランス ホクリク
代表者	丸谷めぐみ
役職名	理事長
氏名（フリガナ）	マルタニ メグミ
団体の所在地	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
構成員	計30名
(内訳)	(1) 市内関係者 25名 (2) その他 5名
設立年月日	2015年3月23日（設立9年目）
設立の目的	広く一般市民に対して、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）に関する事業を行い、その考え方の普及により、個人と組織において健康で豊かな生活のための時間の確保、多様な働き方・生き方が選択できる、地域社会づくりに寄与することを目的とする。
活動概要と団体のPR	<ul style="list-style-type: none"> (1) 子育て中の父母と子供の支援に関する笑顔のリレー事業 (2) ワークライフバランスの普及と啓発に関する事業 (3) 会員のスキルアップのための事業 (4) ひとつづくり・まちづくりに関する事業 <p>その他、目的達成のために必要な事業</p>
HP,SNSのURL	https://worklife-b.wixsite.com/home https://www.facebook.com/worklife2015
担当者連絡先	丸谷めぐみ
役職名	理事長
氏名（フリガナ）	マルタニ メグミ
住所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
携帯電話番号	

【3－2】申請者について（団体連携先①）

団体の名称	材木地区町会連合会
団体名称のフリガナ	ザイモクチク チョウカイ レンゴウカイ
代表者	上坂 達朗
役職名	会長
氏名（フリガナ）	ウエサカ タツロウ
団体の所在地	〒920-0921 石川県金沢市材木町13-11 材木公民館内
電話番号	076-231-3689
FAX番号	076-231-3689
メールアドレス	zaimoku-k@spacelan.ne.jp
構成員	49町会 約3,000世帯
(内訳)	(1) 市内関係者 名 (2) その他 名
設立年月日	昭和33年8月（設立66年目）
設立の目的	材木地区長会連合会は会員相互の親睦を図ることを旨とし、材木地区的教育、文化、保険衛生等の振興発展を助長促進するための意見交換ならびにこれらが推進力となり随って材木地区住民の福利増進に寄与することを目的とする。
活動概要と団体のPR	材木地区町会連合会は、旧材木町小学校校区の49町会で組織され、町会相互の親睦と連絡提携を図るとともに、安全で明るく住みよいまちづくりと、住民福祉の向上目的に行政と連携し活動を行っています。 金沢市には62の校下（地区）町会連合会のもとに、1,345の単位町会があります。 (令和5年4月現在)
HP,SNSのURL	https://tatsurouuesaka.wixsite.com/zaimoku
担当者連絡先	上坂 達朗
役職名	会長
氏名（フリガナ）	ウエサカ タツロウ
住所	〒920-0921 石川県金沢市材木町13-11 材木公民館内
電話番号	076-231-3689
FAX番号	076-231-3689
メールアドレス	zaimoku-k@spacelan.ne.jp
携帯電話番号	

【3-2】申請者について（団体連携先②）

団体の名称	馬場地区町会連合会
団体名称のフリガナ	ババチク チョウカイ レンゴウカイ
代表者	塩原 吉成
役職名	会長
氏名（フリガナ）	シオバラ ヨシナリ
団体の所在地	〒920-0831 石川県金沢市東山3丁目9-35 馬場文化会館
電話番号	076-252-0705
FAX番号	076-252-0726
メールアドレス	info@baba-kanazawa.jp
構成員	29町会 約1,100世帯
(内訳)	(1) 市内関係者 名 (2) その他 名
設立年月日	昭和33年8月（設立66年目）
設立の目的	馬場地区長会連合会は、馬場校下町会相互の親睦と連絡連携を図り、地域住民の福祉の向上と地域住民の進行発展に寄与することを目的とする。
活動概要と団体のPR	(1) 校下町会相互の連携・親睦 (2) 各種団体の進行育成及び連絡提携 (3) 住民の福祉・環境・衛生の向上 (4) 安全・安心のまちづくりの推進 (5) その他必要な事項
HP,SNSのURL	http://baba-kanazawa.jp/wordpress/
担当者連絡先	塩原 吉成
役職名	会長
氏名（フリガナ）	シオバラ ヨシナリ
住所	〒920-0831 石川県金沢市東山3丁目9-35 馬場文化会館
電話番号	076-252-0705
FAX番号	076-252-0726
メールアドレス	info@baba-kanazawa.jp
携帯電話番号	

【4】企画内容について

提案事業・テーマ	(3) 人づくり
企画のコンセプト	川と橋にまつわる町会コミュニティの修復
企画のタイトル	【川と橋の物語】episode01 七つ橋わたりと体験型コミュニケーション
現状の地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ○薄れゆく町会や町のコミュニティ。 ○数年にわたるコロナによって、コミュニティはズタズタに壊されてしまいました。 ○高齢化の影響は、町会の役員にも出ていて、60～70代が中心。 ○町でやる行事・お祭りの関連も、運営しているのは、大半が高齢者。 ○金沢市の町会は、それぞれに歴史伝統・風習行事・祭り・言い伝えなど、残すべきコンテンツがある。 ○町のコミュニティの修復や、若返りが必要。
事業の実施により期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●SDGsカードゲームや七つ橋わたりを告知し、町会の参加者を増やす。 ●若手の町会関係者の参加を促し、町会が若返り、コミュニティが徐々に活性化する。 ●ボランティア活動として運営に参加し、町会行事の達成感を体感、興味を持ってもらう。 ●一年、二年とepisodeを変え、続けていくことで理解者が増え、コミュニティの修復が進む。 ●若手が民生委員、公民館委員、町会役員、など町会に絡むことが本事業のゴールです。
事業の概要	<p>【川と橋の物語】episode01 七つ橋わたりと体験型コミュニケーション</p> <p>【2024年度】</p> <p>○タイトル→「【川と橋の物語】episode01 七つ橋わたりと体験型コミュニケーション」</p> <p>○対象者→浅野川沿い町会／材木地区連合町会・馬場地区連合町会</p> <p>○episode01（2024年度）という名称で、来年3月まで3回+aを実施します。</p> <hr/> <p>○第1回 SDGsカードゲームとコミュニケーション（7月21日）</p> <p>○第2回 七つ橋わたり（9月22日）</p> <p>○第3回 絵しりとりとコミュニケーション＆まとめ（11月）</p> <p>※七つ橋わたり・春編（2025年3月20日）</p> <p>----- (第1回 SDGsカードゲーム) -----</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国連で決定したSDGsを、親しみやすく、分かりやすくしたカードゲームです。 ●カードゲーム後に、目標11番「住み続けられる、まちづくり」をテーマにディスカッションします。 <p>----- (第2回 七つ橋わたり) -----</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この風習の「無言で歩く」という体験をし、コミュニケーションの基本を考えます。 ●秋／9月22日（日）00:00スタート 21日（土）23:45集合 ●春／3月20日（木祝）00:00スタート 19日（水）23:45集合 ●風習に従って夜間に実施する。対象者：大人（成人） ●ブチ体験「四つ橋わたり」9月21日（土）13:30スタート／3月15日（土）13:30スタート ●本番の「七つ橋わたり」は深夜にスタートするので、子ども向けて、日中に「四つ橋わたり」を実施する。 ●ブチ体験「四つ橋わたり」対象者：子どもとその保護者 ●七つ橋わたりコース（常盤橋～天神橋～梅ノ橋～浅野川大橋～中の橋～小橋～昌永橋） ●四つ橋わたりコース（天神橋～梅ノ橋～浅野川大橋～中の橋） ●上記のコースを無言で歩く。各橋の渡る前、中ほど、渡り終えで、手を合わせる。白い下着をつける。 <p>----- (第3回 絵しりとりとガチャポン) -----</p> <ul style="list-style-type: none"> ●絵しりとりでは、七つ橋わたりの追体験で、無言で「絵」でしりとりをします。 ●コミュニケーションには、書く、話す、聞くという基本を確認します。 ●後半は、「まちづくり・町会」をテーマに、ガチャポンで話題の提供、意見交換をします。 <p>【発展性と創造性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域を広げる（瓢箪地区／浅野町校下／味噌蔵地区／此花地区／新堅町校下／新神田校下連合町会） ◆episode候補（浅野川の各橋で七夕飾り／泉鏡花と和菓子／ホタルが乱舞する梅の橋；etc） ◆SDGsの目標／各橋で七夕飾り→3・14番／泉鏡花と和菓子→4・8番／ホタルと梅の橋→7・14番 ◆あまり知られていない風習や、これまでにない組み合わせでボランティアを募集→町会活動に誘導する。 ◆追加資料①＜類似事業との差別化・工夫した点＞も参照ください。

【5】事業収支予算書

委託費

400,000円

収入の部

(単位：円)

科目	金額	内訳など
委託料	400,000	金沢市より
自己資金	30,000	NPO会計より
参加費	10,000	一般参加者（資料代他）
計【A】	440,000	

支出の部

(単位：円)

科目	金額	内訳など
謝金	70,000	外部講師（SDGs進行 30,000円） 七つ橋わたり先導/左右（2名×1日2回×秋春×5,000）
交通費	40,000	講師等の旅費（大阪～金沢往復）・打ち合わせ・事業実施等に係る交通費
消耗品費	35,000	資料・事務用品等・懐中電灯・誘導用ライト
食糧費	20,000	会議打合せ及び講師等に出す軽食代 四つ橋わたりジュース
印刷製本費	70,000	告知チラシ兼ボランティア募集（4回×5,000部） 七つ橋わたりリーフレット・ポスター等の印刷代
通信運搬費	10,000	郵送料・宅配料等・案内状送付
保険料	20,000	レクリエーション保険
委託料	70,000	（ボランティア募集チラシ・ポスター）デザイン 七つ橋わたりリーフレット+イラスト・資料作成等
使用料及び賃借料	60,000	施設使用料・駐車場使用料（15,000円） SDGsカード使用料（45,000円）
材料費	45,000	関係スタッフ用報告書（町会への参加呼びかけ）
計【B】	440,000	

【A】収入合計と【B】支出合計は一致（同額）させてください。

(川と橋にまつわる町会コミュニティの修復)

【川と橋の物語】episode01 七つ橋わたりと体験型コミュニケーション

2024.05.16 (thu)

<団体連携部門>

材木地区町会連合会
馬場地区町会連合会
NPO法人ワークライフバランス北陸

<スケジュール>

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
プレゼンテーション	●							
告知開始	●		●		●			SNS/チラシ/その他
準備期間	●	●	●		●			
第1回 7/21		●						SDGsとコミュニケーション
第2回 9/22				●				七つ橋わたり ※3/20春の開催
第3回 11月						●		絵しりとりとコミュニケーション
成果検証								
事業振り返り会						●		主催者反省会
報告書作成							●	

<3回の内容>

回数	簡単な内容	日時	予定講師	実施形態	参加者
第1回	SDGsとコミュニケーション	7/21 (sun) 13:30~16:30	外部SDGsファシリテーター	ゲームの設営	20~30
第2回	七つ橋わたり（秋編）	9/22 (sun) 00:00~01:00		浅野川沿い徒歩	50~60
第3回	絵しりとり・ガチャポン	11月（日時未定）	NPO法人内部	スクール形態	20~30
※	七つ橋わたり（春編）	3/20 (sun) 00:00~01:00		浅野川沿い徒歩	50~60

◎会場は「金沢未来のまち創造館」「学生のまち市民交流館」「ITビジネスプラザ武蔵」「材木・馬場両公民館」の空き状況を見て開催する。

<類似事業との差別化・工夫した点>

- ①コミュニティ修復のために、SDGsの目標11番「住み続けられる、まちづくりを」をテーマに対話をします。
- ②アイスブレイク、ガチャポン、カードゲームを使って、楽しくて、飽きのこないセミナーを実施します。
- ③すぐに使えるアイスブレイク、講義テキストをデータ化し、ダウンロードができるようにします。これによって、この企画の参加者が自分の町会でも、自主的なセミナーを開催することができるようになります。

以下は「今後の展望」です

- ④今年を初年度として、材木校下、馬場校下を中心に町会関係者に声を掛ける。
地域を広げる（瓢箪地区/浅野町校下/味噌藏地区/此花地区/新堅町校下/新神田校下連合町会）
各校下にはNPO法人の会員がいるので、集客力を駆使する。ワークライフバランス北陸のネットワークをフルに活用します。
- ⑤能登の市町へ広げるためSNSで告知から開催、事後報告までを紹介します。まだ復旧が優先しますが、いずれ、まちづくりに関連する話し合い、コミュニティを修復する話し合などの機運が高まるものと思われます。この時に、金沢市のある町会のコミュニティ復活が参考例となり、能登地方の市町の町会やコミュニティを間接的に後押して、復興の支援をします。



<第1回概要>

- SDGsの仕組み説明
- カードゲーム
- カードゲームの振り返り
- 目標11番「住み続けられる、まちづくりを」をテーマに対話

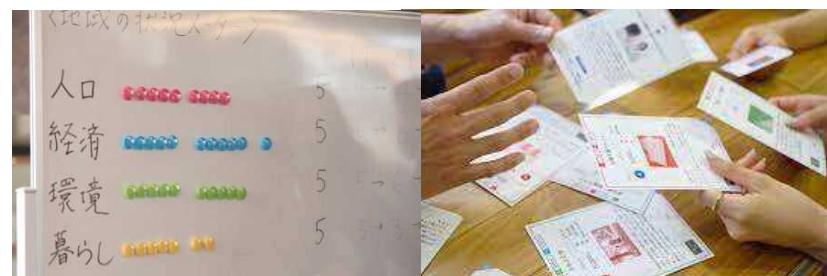
<SDGsカードゲームの説明>

「SDGs de 地方創生」は参加者がある架空のまちの住人として2人×10チームを組み、12年間の地方創生プロジェクトに取り組むカードゲームです。SDGsを基にした自分の志を形にしながら、持続可能なまちをつくることがゴールになります。

「SDGs de 地方創生」のまちの状態は「人口」「経済」「環境」「暮らし」の4つの指標で表されます。何もしなければ徐々に人口が減っていく中で、12年後も持続可能なまち（豊かに過ごせるまち）となるのか、残念ながら消滅可能性が高い都市になるのかはゲーム参加者1人1人の行動によって変わります。

参加者は、行政（税収から資金の使い道を決定する役割）と市民（一次産業従事者やまち工場の経営者、一市民などの地域の人々）の2つの役割に分かれて、それぞれに異なるゴールや思惑で動きます。プロジェクトの実行にはお金と資源・リソースが必要なため、行政と市民が協力することが重要です。

このSDGsカードゲームは話題提供であって、メインは参加者に対話や、コミュニケーションの楽しさを経験してもらうことがあります。



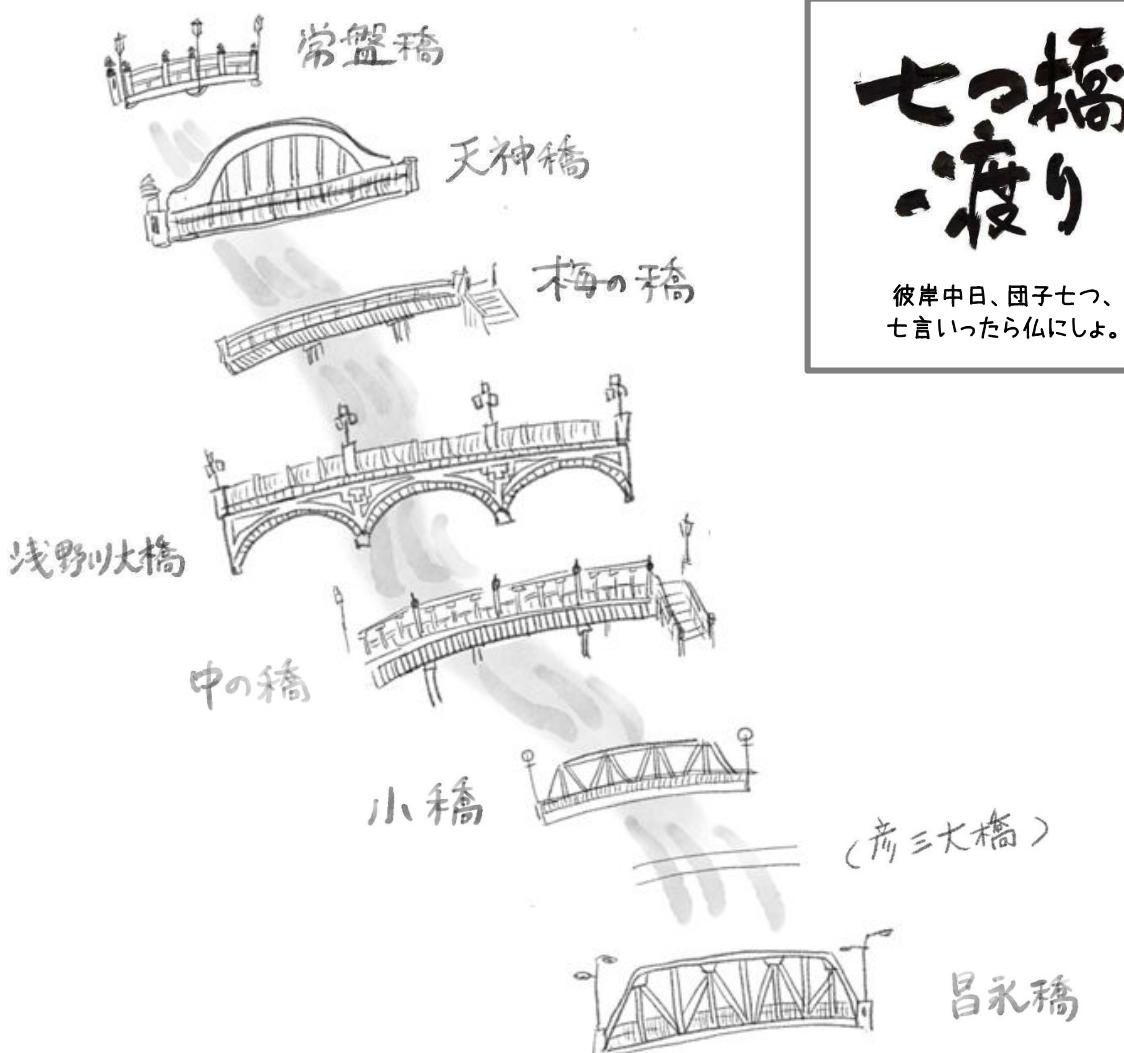
<第2回概要> 協力／材木地区町会連合会・馬場地区町会連合会

- 13:30 プチ体験「五つ橋わたり」（14:30 解散）
- 23:45 集合
- 00:00 「七つ橋わたり」スタート
- 01:00 ゴール～解散

浅野川界隈に古くから伝わる風習で、七つの橋を無病息災を願って渡ります。常盤橋を出発し、昌永橋まで浅野川に架かる七つの橋を約一時間かけて、お参りをしながら渡り歩きます。しもの病に効くと言われています。

<七つ橋わたり「昔からの言い伝え」>

- ◇ 彼岸の中日（春分・秋分）の午前0時以降、日が明ける前におこなう。
- ◇ 七つの橋を渡り終えるまで、無言で歩き、誰とも話さない。
- ◇ できれば新しい白い下着をつけて歩く。（名前と年齢を書いて）
- ◇ 下着は七日間毎日洗った後、奉書紙に包んで紅白の水引をかけ、タンスにしまう。
- ◇ 数珠を携帯する。
- ◇ 川上（常盤橋）から川下（昌永橋）へ七つの橋を一筆書きのように歩く
- ◇ 同じ橋、道を通らない。決して戻ったりせず後も振り返らない。
- ◇ それぞれの橋の、始めと、終りに、橋に向かって合掌、礼をする。
- ◇ 死んだら「お棺の中に、水引掛けの下着を入れてほしい」と頼んでおく。



【4】企画内容について（追加資料④）／絵しりとりとガチャポン（第3回）概要

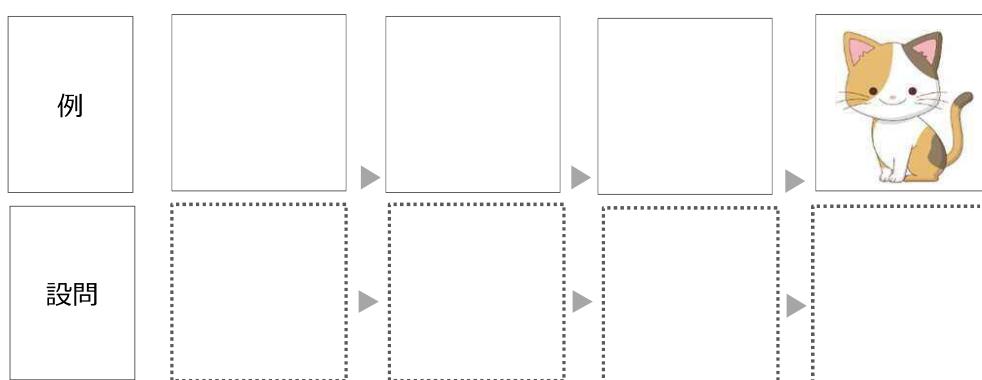
<第2回概要>

- 絵しりとり～コミュニケーションの大切さ
- ガチャポン登場
- まちづくり・町会の課題①
- まちづくり・町会の課題②
- まちづくり・町会の課題③
- まとめ

<絵しりとり>

- ① 声を出さないで、絵を描いて伝えます。
- ② 文字を書くことはNG。
- ③ しりとりと同じように「ん」が最後の言葉はNG。
- ④ 次の人が答えやすく、想像しやすいような言葉ではなく、「絵」を描く。

※コミュニケーションでは、話すこと・聞くことが大切だということを伝えます。



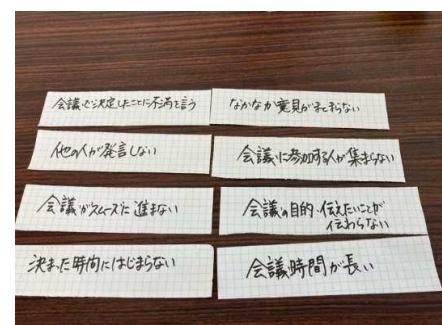
<ガチャポンとまちづくり・町会の課題>

- 参加者1名が、ガチャポンを引いて「テーマ」を出します
- テーマに従って話し合いを進めます。
- 事務局で10分とか時間を測ります。
- 2ターン目のテーマを引きます。
- 3ターン目も同様に進めます。
- まとめでは、まちづくり・町会の課題などの感想を共有します。

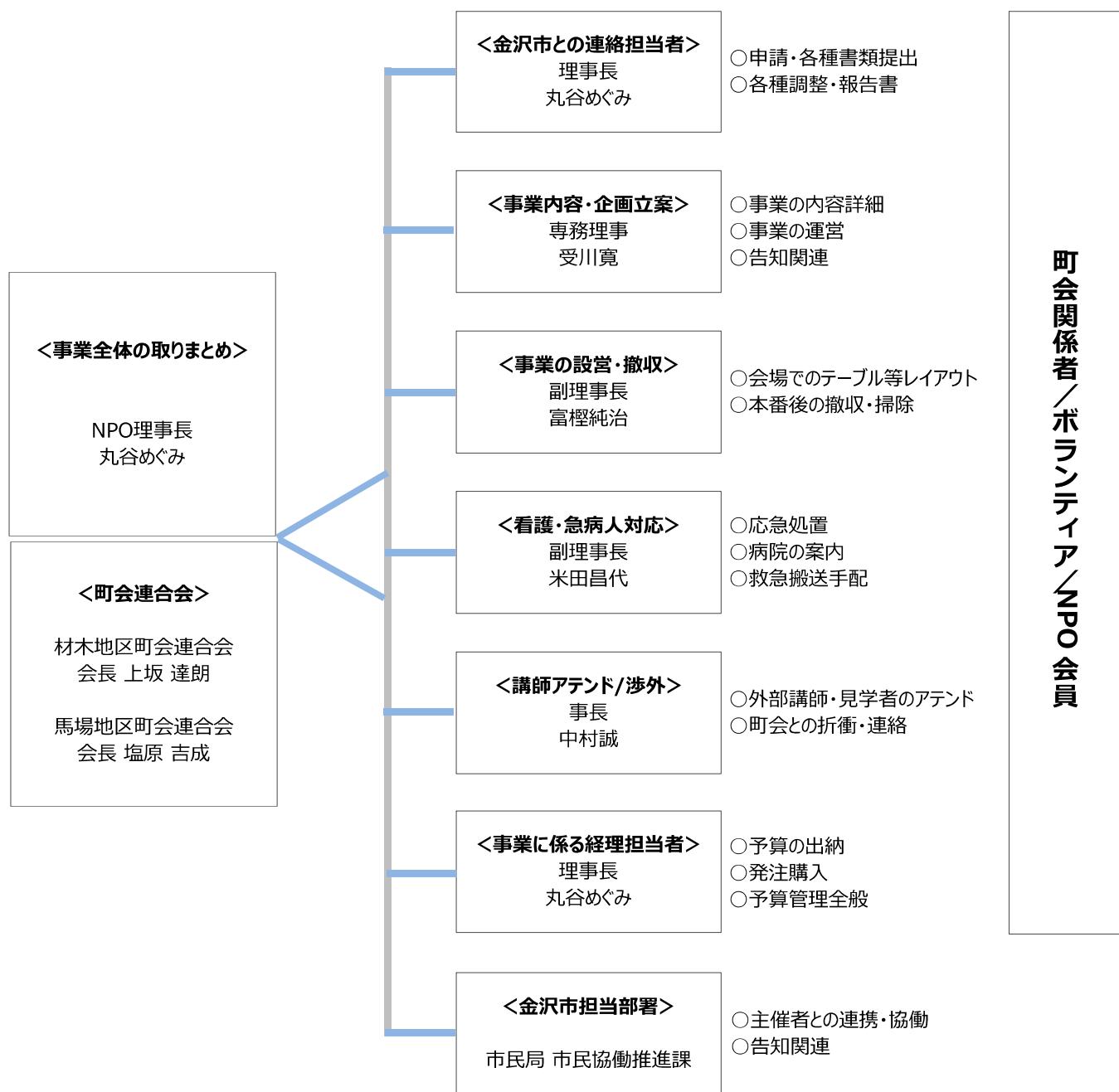
<テーマ（例）>

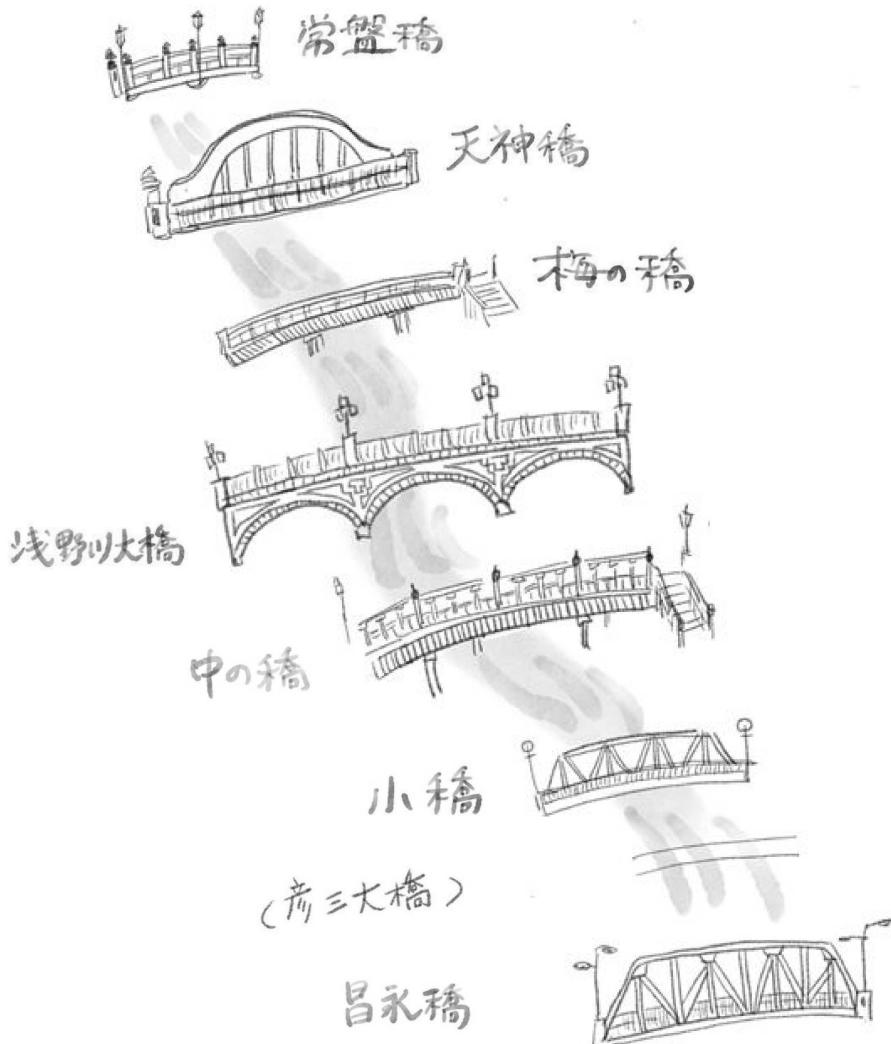
- ・ 話しにくい雰囲気 ・会議が時間通り始まらない ・なかなか意見がまとまらない
- ・ 決まったひとの発言が多い ・昭和のやり方や考え方 ・決まった事に陰で文句を言う など

※上記のようなテーマをカプセルに仕込み、グループに分かれて「現状は、こうだけど改善していくために」という課題設定で、話し合ってもらう。



事業名／【川と橋の物語】episode01 七つ橋わたりと体験型コミュニケーション

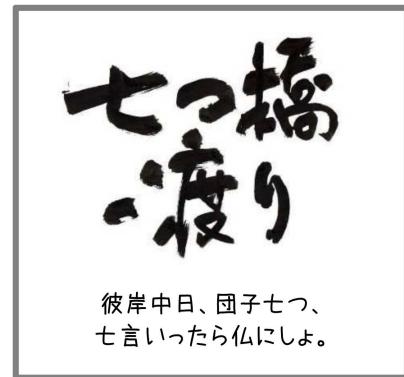
町会関係者／ボランティア／NPO会員



浅野川界隈に古くから伝わる風習で、七つの橋を無病息災を願って渡ります。
常盤橋を出発し、昌永橋まで浅野川に架かる七つの橋を約一時間かけて、
お参りをしながら渡り歩きます。しもの病（やまい）に効くと言われています。

七つ橋わたり「昔からの言い伝え」

- ◇彼岸の中日（春分・秋分）の午前0時以降、日が明ける前におこなう。
- ◇七つの橋を渡り終えるまで、無言で歩き、誰とも話さない。
- ◇できれば新しい白い下着をつけて歩く。（名前と年齢を書いて）
- ◇下着は七日間毎日洗った後、奉書紙に包んで紅白の水引をかけ、タンスにしまう。
- ◇数珠を携帯し、川上（常盤橋）から川下（昌永橋）へ七つの橋を一筆書きのように歩く
- ◇同じ橋、道を通らない。決して戻ったりせず後も振り返らない。
- ◇それぞれの橋の、始めと、終りに、橋に向かって合掌、礼をする。
- ◇死んだら「お棺の中に、水引掛けの下着を入れてほしい」と頼んでおく。



- ◇日時／2024年9月23日（日）
- ◇時間／午前0時出発 雨天決行
- ◇集合／22日（金）23:45 常盤橋
- ◇参加／無料
- ◇協力／材木地区町会連合会
馬場地区町会連合会



**ボランティアに参加して
町のこと考えてみんけ！**



ボランティア申し込みフォーム